

2024年7月10日

報道関係者各位

お部屋さがしは
いい部屋ネット

街の住みこち&住みたい街ランキング2024 <東北版>

大東建託株式会社(本社:東京都港区、代表取締役 社長執行役員 CEO:竹内啓)は、過去最大級の居住満足度調査を行い、「いい部屋ネット 街の住みこちランキング2024<東北版>」「いい部屋ネット 住みたい街ランキング2024<東北版>」として集計しました。

「いい部屋ネット 街の住みこちランキング2024<東北版>」主なポイント

住みこちトップ3は全て宮城県。1位富谷市(5年連続)、2位仙台市太白区(3年連続)、3位仙台市青葉区(2年連続)。

順位	昨年	自治体名	偏差値	評点	回答数
1位	1位	宮城県 富谷市	79.6	72.0	310
2位	2位	宮城県 仙台市太白区	71.4	67.3	1,852
3位	3位	宮城県 仙台市青葉区	70.8	67.0	2,353
4位	5位	宮城県 仙台市若林区	70.3	66.7	1,103
5位	4位	宮城県 仙台市泉区	70.2	66.6	1,668

回答者数 53,068名

- 偏差値とは、評点の平均値が50になるように正規化し、評点の数値が平均値からどの程度隔たっているのかを示したものです。偏差値が同じ場合、小数点2位以下が異なります。
- 「住みこちランキング」は、東北エリアの居住者を対象に、2020年～2024年の回答者数50名以上の自治体を対象として集計しています。ただし、2020～2024年の累計人数が50名に満たない自治体に居住している回答者のみ、2019年の回答も累積しています。なお、回答者に重複はありません。

- 宮城県富谷市が5年連続で1位
仙台市のベッドタウンとして人口が増加、市内にはイオンやコストコなどの大型商業施設がある一方、公園をはじめ豊かな自然もあり、子育て世代が多く住む街で、5年連続で1位に輝きました。
- トップ5は全て宮城県の自治体
トップ5は、今年も全て宮城県の自治体で、いずれも偏差値70台の高い評価を得ています。また、2位～5位は、宮城県仙台市の行政区という結果になっています。

「いい部屋ネット 住みたい街ランキング2024<東北版>」主なポイント

住みたい街1位は、5年連続で宮城県仙台市。2位と3位は3年連続で東京23区と岩手県盛岡市。

順位	昨年	自治体名	得票数	得票率
1位	1位	宮城県 仙台市	652	5.2%
2位	2位	東京都 東京23区	282	2.2%
3位	3位	岩手県 盛岡市	136	1.1%
4位	4位	神奈川県 横浜市	104	0.8%
5位	-	福島県 郡山市	63	0.5%
特にない			6,727	53.6%
今住んでいる街			2,283	18.2%

回答者数 12,541名

- 「住みたい街ランキング」は、東北エリアの居住者の2024年の回答を全国の自治体を対象にしてランキングを集計しています。
- 行政区はまとめて一つの自治体として集計しています。

- 宮城県仙台市が5年連続で1位
宮城県仙台市が、5.2%の高い得票率で5年連続で1位です。2位は東京23区、3位は岩手県盛岡市で、いずれも3年連続でのランクインです。5位には、福島県郡山市が新たにランクインしています。
- 今住んでいる街の肯定派は71.8%
「住みたい街が特にない」53.6%、「今住んでいる街に住み続けたい」18.2%の合計71.8%で、昨年に引き続き、今住んでいる街を評価する結果となっています。

WEBサイトでは上位にランクインした自治体や居住者のコメントも紹介していますので、併せてご参照ください。

本調査は今回が6回目となります。詳細につきましては、「住みこちランキング」WEBサイト(<https://www.eheya.net/sumicoco/>)または大東建託株式会社「賃貸未来研究所」公式WEBサイト(<https://www.kentaku.co.jp/miraiken/>)をご参照ください。また、「住みこちランキング」WEBサイトでは、「住みこち」と街づくりに関する学術論文や調査データの解説記事を掲載しています。

<詳細データについて>

各自治体には、回答者のコメントや住みこちに関する47項目の設問の評価などを記載した詳細データの提供が可能です。ご希望の場合は、本リリース2ページ目記載の問い合わせ先までご連絡ください。

街の住みこちランキング2024<東北版>自治体TOP15 因子別順位

順位	昨年 順位	自治体名	偏差値	評点	生活 利便性	交通 利便性	行政 サービス	静かさ 治安	親しみ やすさ	賑わい	物価 家賃	防災	回答数
1位	1位	宮城県 富谷市	79.6	72.0	1位	7位	2位	11位	1位	3位	14位	1位	310
2位	2位	宮城県 仙台市太白区	71.4	67.3	5位	3位	13位	-	7位	4位	66位	67位	1,852
3位	3位	宮城県 仙台市青葉区	70.8	67.0	11位	4位	11位	-	2位	1位	59位	16位	2,353
4位	5位	宮城県 仙台市若林区	70.3	66.7	3位	2位	19位	-	3位	6位	-	-	1,103
5位	4位	宮城県 仙台市泉区	70.2	66.6	14位	8位	7位	36位	5位	9位	46位	6位	1,668
6位	8位	宮城県 宮城郡利府町	69.5	66.2	4位	11位	6位	-	20位	2位	15位	41位	228
7位	6位	宮城県 仙台市宮城野区	68.6	65.7	6位	1位	28位	-	6位	7位	-	-	1,598
8位	10位	山形県 天童市	68.2	65.5	12位	19位	3位	29位	17位	11位	2位	10位	392
9位	20位	福島県 伊達郡桑折町	67.3	65.0	-	18位	4位	17位	8位	65位	5位	35位	75
10位	9位	山形県 東根市	67.1	64.9	9位	23位	5位	34位	14位	13位	3位	7位	291
11位	11位	岩手県 盛岡市	66.6	64.6	8位	13位	8位	45位	9位	10位	41位	17位	2,091
12位	7位	宮城県 名取市	66.5	64.6	24位	6位	14位	60位	10位	5位	28位	73位	532
13位	12位	青森県 弘前市	66.1	64.3	7位	44位	1位	28位	4位	8位	6位	14位	1,184
14位	13位	宮城県 多賀城市	64.8	63.6	17位	5位	10位	-	15位	12位	40位	-	418
15位	14位	岩手県 滝沢市	64.5	63.4	52位	15位	34位	33位	19位	22位	20位	21位	343

TOP15外の自治体 因子別順位トピックス

- 生活利便性の2位は、福島県郡山市でした。
- 静かさ治安の1位は岩手県岩手郡雫石町、2位は秋田県雄勝郡羽後町、3位は山形県西置賜郡白鷹町でした。
- 物価家賃の1位は、岩手県岩手郡雫石町でした。
- 防災の2位は福島県石川郡石川町、3位は岩手県岩手郡雫石町でした。

- ・評点は、今住んでいる街への評価について、大変満足している：100点、満足している：75点、どちらでもない：50点、不満である：25点、大変不満である：0点とした場合の平均値です。
- ・偏差値とは、評点の平均値が50になるように正規化し、評点の数値が平均値からどの程度隔たっているのかを示したものです。
- ・因子別の順位で、偏差値が50未満の場合は「-」と表示しています。

調査概要

■ 調査概要

- ◇調査方法 株式会社マクロミルの登録モニタに対してインターネット経由で調査票を配布・回収。
- ◇回答者 東北エリア(青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県)居住の20歳以上の男女、2020年～2024年(一部の回答のみ2019年を追加)合計53,068名を対象に集計。
[男女比] 男性46.2%:女性53.8%
[未婚] 未婚40.1%:既婚59.9% [子ども] なし46.5%:あり53.5%
[世代比] 20歳代15.7%、30歳代23.5%、40歳代25.2%、50歳代21.3%、60歳代11.3%、70歳代3.1%
- ◇調査期間 2024年2月21日(水)～3月14日(木):2024年調査(回答者数:12,541名)
2023年2月17日(金)～3月15日(水):2023年調査(回答者数:11,620名)
2022年3月8日(火)～3月29日(火):2022年調査(回答者数:11,102名)
2021年3月17日(水)～3月30日(火):2021年調査(回答者数:9,574名)
2020年3月17日(火)～4月3日(金):2020年調査(回答者数:7,797名)
2019年3月26日(火)～4月8日(月):2019年調査(回答者数:434名 ※2019年は一部の回答のみ使用) 計53,068名
- ◇調査体制 調査企画・設問設計・分析:大東建託賃貸未来研究所 宗 健(フェロー)、調査票配布回収:株式会社マクロミル
- ◇回答方法 住みこちランキングは、現在居住している街についての「全体としての現在の地域の評価(大変満足:100点 満足:75点 どちらでもない:50点 不満:25点 大変不満:0点)」の平均値から作成。住みたい街ランキングは、入力された自治体名をもとに複数の候補を表示し選択してもらうフリーワード・サジェスト方式の回答から投票数を集計して作成。

■ 解説者プロフィール

宗 健(そう たけし)



麗澤大学教授 博士(社会工学・筑波大学) ITストラテジスト
大東建託株式会社 賃貸未来研究所 フェロー

1965年北九州市生まれ。1987年九州工業大学工学部卒業、株式会社リクルート入社。通信事業部、求人系インターネットサービス企画マネジャー、ForRent.jp編集長、ISIZE住宅情報編集長、R25式モバイル編集長などを経て、2006年株式会社リクルートフォレントインシュア代表取締役社長。2012年リクルート住まい研究所長、2018年7月大東建託株式会社賃貸未来研究所長、2020年4月AI-DXラボ所長(兼任)、2021年4月麗澤大学客員教授を経て、2023年4月より麗澤大学教授、大東建託株式会社賃貸未来研究所フェロー。

- ・本リリースの一部または全部を、個人的な利用を目的とする印字・保存等、その他著作権法で認められる場合を除き、著作物等を著作権者等の事前の許諾なしに、複製、公衆送信、頒布、改変、他のウェブサイトに掲載するなどの行為を禁止します。
- ・新聞・雑誌、テレビ・ラジオ等の報道関係者におかれましては、本リリースを掲載・報道または引用する場合には、「いい部屋ネット 街の住みこちランキング&住みたい街ランキング2024<東北版>」と出所の表記をお願いします。
- ・学術研究目的の場合、本調査個票データについて提供できる可能性がありますので個別にお問い合わせください。
- ・「住みこちランキング」WEBサイトでは、「住みこち」と街づくりに関する学術論文や調査データの解説記事を掲載しています。詳細につきましては、WEBサイトをご覧ください。

本件に関するお問い合わせ | 大東建託株式会社 賃貸未来研究所

メール | mirai-ken@kentak.co.jp TEL | 03-6718-9340